

# 最新式のCTを導入しました

## 心身ともに患者さまの負担を軽減

城西病院は、最新式のCT（コンピュータ断層撮影）装置を導入し、10月から稼働を始めました。

新しいCT装置は、胸部レントゲン検査と同等の低線量で撮影が可能で、従来のCT装置と比べ50分の1に抑え、検査時間も大幅に短縮されるとともに、繰り返しの検査も可能としています。頭上には優しいライトが光り、検査の緊張をほぐす配慮もしています。造影剤撮影は、従来より少ない量で撮影できるため、患者さまの負担も軽

くなります。患者さまのすぐそばで、タブレット端末によって検査の準備を行うこともでき、より安心感を高める配慮も行えます。

新しいCT装置は、解析に最新のAI（人工知能）を導入し、解析時間を大幅に短縮するとともに、これまでできなかった解析を可能としています。

2種類の異なるエネルギー領域の画像を一度に撮影し、AI解析を行うことで正常組織と病変組織の識別



を行うことが可能です。また、画像から骨を消して血管のみの画像を表示することもできます。従来のCTではできなかった頭部の血流の状態をカラー画像によって表示することが可能になるなど、幅広い医療分野での活用が期待されています。

このCT装置は、茨城県を通して医療機関の設備整備事業の補助を受けて導入しました。

2021年10月7日



©Tasseido group

